

事業所における自己評価結果（公表）

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	8				利用定員に対して適切なスペースではありますが、スペース に合わせて安全に活動するようにしています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	5	2	1		職員の配置数は充足されております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされているか	7		1		バリアフリーにはなっています。 事業所が2階建てのため、階段には手すりがあり、転倒防止 柵を設置しております。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画してい るか	8				業務改善が進むよう、支援方法や1日の反省等を職員同士で 共有できるようにしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把 握し、業務改善につなげているか	6	1	1		保護者対応等でも、意見を伺う機会を設けています。
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか	7		1		自己評価の結果はホームページで公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業 務改善につなげているか	5	1	2	第三者委員会がない	第三者評価(業者等)は実施しておりません。
適切な支援の 提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか	8				ABA療育の研修には参加しているが、その他の研修には参加 が出来ていない。今後外部研修も含めて参加をしていき たい。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニ ーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デ イサービス計画を作成しているか	8				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用しているか	8				ABA療育進行表やNSプログラム記録シートを活用してい ます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行ってい るか	8				
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ているか	8				前回の療育内容を確認した上で、支援計画を作成してい ます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援しているか	6		2		平日、休日ともに個別療育45分、小集団療育(最高3人)を45 分実施しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成しているか	8				子供の状況に応じて、個別療育のみの場合は、その旨 を個別支援計画の内容に反映しています。
	⑮	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、気付 いた点等を共有しているか	6	1	1		毎日終礼を行い、引き継ぎノートを活用して、休みの職員に も内容が伝わるようにしています。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、そ の日行われる支援の内容や役割分担につ いて確認しているか	7		1		就業時間開始(9時)から10分後には療育が始まるため、 朝礼はやらす、1日の特記事項(欠席連絡や職員の動 き)のみを各職員が申し送るようにしています。 スムーズに支援が提供できるようスケジューリングし、適 宜職員ミーティングで共通認識の場を設けています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹 底し、支援の検証・改善につなげているか	7		1		療育後にケース記録を入力するようにしています。
関係	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デ イサービス計画の見直しの必要性を判断してい るか	8				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っているか	8				個別支援計画に沿った支援内容を行っております。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会 議にその子どもの状況に精通した最もふさわ しい者が参画しているか	8				
関係	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交 換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送 迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に 行っているか	7		1	送迎サービスを行っており ません。	学校との情報共有は保護者を通して行ったり、必要に応じて 直接連絡を図るようにしています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えて いるか	2	1	5	対象児童がいない 医療的ケアの利用児が いない	現在直接的に医療的ケアを必要とする児童は在籍して いませんが、医療的ケアが必要な子どもを受け入れる 場合には各関係機関と連携して支援を行って参ります。

機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7		1		必要に応じて各機関との情報共有と相互理解に努めております。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5		3	卒業する子がいない 対象児童がいない	現時点で対象のお子様はいませんが、そのような機会があれば、情報を共有してまいります。
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	3		必要に応じて各機関と連携し、助言や研修を受けています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	3	2		今後の課題として検討していきます。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	4	1		そのような機会があれば参加していきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8				
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6		2		面談は6か月に1回行い、その都度、相談や助言をさせていただいております。今後、家族支援プログラムも計画し、実施できるよう努力して参ります。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8				
	㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8				
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	1			令和7年11月に保護者会を行いました。
	㉝	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8				
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		3		その都度、公式ラインツールを使用し、発信しています。
	㉟	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8				
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8				
非常時等の対応	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	2	地域の方が参加できるイベントを計画しておりません。	事業所の行事を計画しておりません。
	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7		1		各マニュアルの策定をしており、会議にて周知しています。
	㊴	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8				
	㊵	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	6		2		1年に2回、活動内で避難訓練を行っています。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8				やむを得ない場合は、個別支援計画に記載して面談時に説明し承を得るようにしています。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	1	5	対象児がいない 食事の機会がない。	食事を提供していないため非該当
㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8					

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。